まだまだあります老人クラブの活動



老人クラブ女性部は和気あいあいといろいろな活動を行っており、手芸教室もその一つです。 巾着やアクリルたわし、さらにはゴキブリ退治のホウ酸団子などを作成。できたものは地域に配布しています。作品は「高齢者 趣味の作品展」にも多数出展されました。



●公式ワナゲ大会

性別や身体能力に関係なく、誰もが参加して楽しめるスポーツ大会を目指して開催された「公式ワナゲ大会」。今年は170人が参加し、白熱した戦いを繰り広げました。この大会をきっかけに、老人クラブ内で「ワナゲ」ブームが起きたほどの人気です。

町老人クラブ連合会(槇の木クラブ)は、24の地域(単位)クラブから構成され、会員数は1,314人の組織です。

活動は地域ごとに行われるだけでなく、魅力的な全体行事も多数開催。「高齢者趣味の作品展」(本紙25ページで紹介)、「公式ワナゲ大会」、「スマホ教室」など新たな事業も次々と展開しています。会のモットーは、「健やかに、楽しく、生きがいを持って、仲間と助け合い、感謝の気持ちを忘れない」です。

60 歳以上の町民ならば誰でも参加できます。 自助、 共助の精神で、セカンドライフを生き生きと過ごす、私 たちの活動にあなたも参加しませんか?



●スマホ教室

スマホ教室「天草スマートカレッジ」にリモートで参加しています。この教室に参加した会員たちでLINEグループも結成されました。参加者は時には生徒、時には先生となって、日々スマホの知識を習得しています。スマホの利用は認知症予防の効果も期待されています。スマホなんて今さら難しい…とためらうあなた。一緒に新しい世界を学びましょう!

Interview

交流を広げ、活動を生きがいにする大切な仲間たち

会長に就任して今年で5年目になります。会長という大役を任された1年目、この会に何ができるのかを考え、まずは会の加入率を調べました。当時、上益城郡全体の加入率の平均が約30衛でしたが、益城町は13衛とその平均を下回っていました。

「何とかせんといかんな」と思い、 各方面に会への加入を働きかけまし たが、成果は上がりませんでした。 そこで、まずは会の魅力を高める 必要があると考え、誰でも気軽に参 加でき、楽しめるさまざまな事業を 開始しました。

「老人クラブ」という名称で敬遠する人もいますが、会を通じて交流を広げ、活動を生きがいと感じている会員がたくさんいます。老人クラブの会員は大切な仲間です。新しい仲間をいつでもお待ちしています。



町老人クラブ連合会 ^{じんきそぉ} 陳基礎夫会長(80)